

米子医学雑誌投稿規定（2021年2月改訂）

1. 投稿原稿の種類

本誌に投稿する論文は、医学に関する原著・総説・症例報告などで、未発表のものに限る。

2. 投稿資格

著者は原則として米子医学会会員であること（著者が学部学生の場合は、米子医学会員を含むこと）。

3. 採否審査

- 1) 論文の採否は、査読者の意見を参考に編集責任者が決定する。採否の判断が困難な場合には、編集委員会で審議し決定する。
- 2) 動物を用いた研究においては、鳥取大学動物実験規則あるいは動物実験に関する研究実施施設内基準に沿って行われた実験に基づいた論文でなければならない。また臨床研究ではヘルシンキ宣言の遵守、鳥取大学医学部倫理審査委員会、ヒトゲノム・遺伝子倫理審査委員会あるいは研究実施施設内の倫理審査委員会での承認を得ていることや、被験者の同意取得の有無等も採否にあたって考慮の対象とする。
- 3) 掲載は投稿受付順を原則とするが、審査もしくは編集の都合により若干変動する場合がある。

4. 掲載料

印刷費用は、正誤表も含め、すべて著者負担とする。但し、編集委員会からの依頼原稿の印刷費用は、別刷を除き無料とする（カラーの図を含む場合は、別途追加料金とする）。

5. 著作権とインターネットでの公開

本誌に掲載された著作物の著作権は、米子医学雑誌編集委員会に帰属する。また、本誌に掲載された著作物は、冊子による発行のほか、米子医学雑誌編集委員会が承認したデータベースシステムにより電子化しインターネットで公開できるものとする。

6. 原稿の書式

1) 投稿論文は Microsoft Word で作製し、A4 用紙に横書きにする。現代仮名遣いによるひらがなと常用漢字を使用する。1 行の文字数は制限しないが、読みやすさに配慮すること（38 字×30 行程度を目安に）。投稿は文書ファイル（.doc または.docx）を編集委員会事務局に電子的に提出する（stani@tottori-u.ac.jp）。Macintosh コンピュータを使用する場合も、ファイル名に拡張子（.doc または.docx）を付けること。表、図、写真の電子ファイルも添付して投稿する（注意事項 4 を参照）。

- a) 日本語の句読点は全角の [,] [.] を使用し、[,] [.] は、使わない。
- b) 文中の欧文は欧文の書き方に準じ、センテンス中の単語は、小文字で始める。センテンスの初め、固有名詞、ドイツ語名詞などは、大文字で始める。単語と単語の間には半角スペースを入れる。
特に数字と単位、数字と括弧などのスペースに注意する。
- c) ゴシック、イタリック、上付、下付、ギリシャ文字などの特殊文字で印刷すべき文字には、よく分かるように朱でマークする。

d) 文中の数字、アルファベットは原則として半角文字とする。文字化け等の問題があるので、特殊記号などの機種依存文字は使用しない。

2) 原稿の第 1 枚目に表題、所属機関名（鳥取大学にあつては所属教室・分野名に続いて括弧内に主任教授名を付記する）とその所在地、著者名、短縮表題（全角 20 文字以内。アルファベットは 1/2 文字に相当）、校正責任者名および電話番号、e-mail address を記載する。

3) 原稿の第 2 枚目に英文の表題、著者名、所属機関名とその所在地、Abstract（200 語以内。段落をつけず、番号をつけた箇条書きをしない）、Key words（5 語以内）を記載する。

4) 原著の内容の構成は、以下のようにし、項目ごとに 1~2 行あける。

a) はじめに [新しいページ]

b) 材料および方法（又は、対象および方法）

c) 結果

d) 考察

以上の項目では、番号をつけた箇条書きをしない。項目名はゴシック体とする。

e) 結語（又は、総括）

f) 謝辞：学位論文の場合は、校閲者がわかるようにする。

g) 文献 [新しいページ]

h) 図・写真の説明 [新しいページ]

顕微鏡写真の倍率表示は写真説明に倍率を入れず、写真中にスケールを入れて大きさを示す。

i) 表及び表の説明 [新しいページ]（表の頁まで通して頁番号を入れる）

j) 図・写真は、必要最小限にとどめる。原則として刷り上がり 11×8 cm の大きさとなってもよく分かるものとする。そのまま製版できるよう鮮明なものが必要である。また、1 つの図は複数のページに分割せずに 1 枚にまとめる。

5) 引用文献は原則として 30 編以内とし、配列は、出てきた順番に片括弧の番号を付して並べる。

文献の記載方法：

a) 編者のある単行本の引用例

1) 三輪亮寿. 治験関係者の薬害防止義務. 日本臨床薬理学会編, 臨床薬理学, 第 2 版, 東京, 医学書院. 1993. p. 519-521. [注：和文の姓と名の間には、スペースを入れない]

2) Miller JM, Zipes DP. Management of patient with cardiac arrhythmias. In: Braunwald E, Zipes DP, Libby PT, eds. Heart disease: A textbook of cardiovascular medicine. 6th ed. Philadelphia: Saunders; 2001. p. 700-767.

b) 編者のない単行本の引用例

3) Krantz JC Jr, Carr CJ. The pharmacological principles of medical practice, 5th ed. Baltimore: Williams Wilkins; 1965. p. 268-273.

c) 雑誌掲載論文の引用例

4) Schlotthauer_K, Bers_DM. Sarcoplasmic reticulum Ca²⁺ release causes myocyte depolarization. Underlying mechanism and threshold for triggered action potentials. Circ Res 2000; 87: 774-780.

本文中の引用方法は上付き数字と括弧を用いる。但し、複数論文の引用には、1, 2)、1-3, 5, 9) などのように記載する。

注意事項

1. 投稿論文に添付する書類

カバーレター（学位論文の場合は、2名以上の Yonago Acta medica Editorial Board member の校閲を受けたことを記載し、主任教授の校閲印を必要とする）。

2. 和文中の括弧（全角）の前後には、余分のスペースを入れない。欧文中の括弧は半角文字を使い、単語の範囲を表す半角のスペースを入れる。

数字の正負を表す+や-と数字の間はスペースを入れてはならないが（一つの単語なので）、演算記号の前後はスペースを入れる。[例：16+_4=_20]。同様に 164.4_±_1.2 や p_<_0.05 など同様。[注：ここに示すアンダーラインは、スペースの位置を示すために入れてある。]

3. 和文中のギリシア文字、演算子、記号は全角文字を用いるが、数字、欧文単語に付随した単位および記号は以下のものを使用する（半角文字）。単位および記号の取り扱いについては、Yonago Acta medica の投稿規定を参照のこと。

cm、mm、μm（μは使わない）、nm、g（グラム）、mg、μg（γは使わない）、ng、pg、L、mL、μL（λは使わない）、hr、min、sec(s)、rpm、dpm、cpm、GBq、MBq、KBq、℃、g（加速度）、SD、OD、LD⁵⁰、%など。

これら単位の前には、半角スペースを入れる（但し%、℃の前には半角スペースを入れない）。

4. 図、表について

1) 表は文書ファイルを提出する。

2) 図は解像度の高い良質の図のデジタルデータを提出する。

3) 写真データは Photoshop で使えるデータで、形式は JPEG が望ましい。(TIFF、EPS 等でも良いが、画像1枚あたり 5MB までとする)。データサイズが小さいと、画質が荒くなるので、必ず使用するサイズにすること。

4) 画像解像度は 350~400 dpi とする。カラーは RGB から CMYK に変換されるため多少色調が変化する。モノクロ写真、黒一色のグラフはグレースケールとする。

5. 校正は再校までとする。校正は受領後 2 日以内に編集担当者に返送すること。校正は誤りの訂正にとどめ、内容の加筆や訂正は行わないこと。

6. 米子医学会の発表抄録の場合は投稿規定が異なるので、編集委員会に照会すること。

7. 原著論文ならびに症例報告を対象に優秀論文を年間 1 編ずつ選考する。選考は役員会で審議し決定する。なお、レビュー論文は審査対象とはならない。